

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取市公設地方卸売市場再整備事務所	階数	地上2階
建設地	鳥取市南安長2丁目697-1の一部、578-2の一部、626-2、626-7~15、578-5~14、696-3	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	卸売市場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年3月5日
敷地面積	20,653 m ²	作成者	(株)昭和設計 北出悟士
建築面積	9,678 m ²	確認日	
延床面積	11,274 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★☆ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★☆

このチャートは、環境指標(S)と環境負荷(L)の関係を示す。Y軸は環境指標S(0~100)、X軸は環境負荷L(0~100)である。BEE=1.6はS=31, L=31の位置に示す。

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフケーブルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(ドーナチャート)

Q1 室内環境
Q2 サービス性能
Q3 室外環境(敷地内)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.2	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 2.8
音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	機能性 耐用性 対応性	生物環境 まちなみ 地域性・
2.6 3.0 2.8 4.2	3.0 3.2 3.4	2.0 3.0 3.5

LR のスコア = 3.7

LR1 環境負荷低減	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.6	LR3のスコア = 3.5
建物外皮の 自然エネ 設備シス 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	地球温暖化 地域環境 周辺環境
2.3 4.9 5.0 3.5	3.8 3.7 3.8	4.2 3.4 2.5

3 設計上の配慮事項

その他の配慮事項

- 機能的・効率的な鳥取の物流の要となる市場
- 食の安全・安心を将来に渡って供給・維持できる市場
- 災害時にも食の安定供給が可能な防災市場
- 費用対効果に優れた人と自然にやさしい環境配慮型市場

その他

- 建設発生土等、産業廃棄物の適正管理により、建築資材の循環利用と低炭素化を図る計画としています。

Q1 室内環境

- F★★★★の材料を探用し、化学物質による室内環境の悪化を防ぐ計画としている。
- 作業時間が深夜～朝にかけてとなるため、適切な照度を確保できる照明環境を整備し、作業環境の向上を図る計画とする。

Q2 サービス性能

- 建物外皮の熱負荷抑制に努める計画としている。
- 常温施設では温度差による重力換気が可能ないようにハイサイドライトを設けている。

Q3 室外環境(敷地内)

- 市場作業の支障の無い位置にゴミ置場を設けている。
- 一方通行の車路を設け、敷地内における交通の軽減による事故などを防ぐ計画としている。

Q3 室外環境(敷地外)

- 現地立替のため、市場機能を損なわないローテーション工事に配慮した計画としている。(今回は第二段階)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減度), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケーブルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケーブルCO₂排出量は、Q2, LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい